



高麗中学校だより

日和田

令和6年・3月学校評価号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

R5年度学校評価結果の概要

12月に実施した学校評価によると、保護者評価「Aあてはまる」と「Bややあてはまる」を合計した割合が13項目中11項目で90%を越え、高い評価をいただきました。

一方、基礎学力の定着の項目では、評価指標の「わかる授業」、「生徒個々の能力を引き出す工夫」については90%を僅かに越えず、昨年度に続いて課題となりました。

日高市の目指している「教えない教育」＝自ら学び、他と協働しながら最適解を創出していく教育を具現化すべく本校で取り組んできたことは、1) 道具として自由に活用できるICT環境(タブレット)、2) 協同的な学びや協調学習の導入、3) 出来るまでチャレンジする高麗中検定、4) チームによる教科指導等でした。学校、地域、家庭にあって、いつでも、どこでも、学びたいときに学べる、そんな多様な学び、広がる学びを保障できる高麗地区が理想。その一端を担う高麗中を目指して来年度も頑張っ



R5年度重点目標について

()内の数字は前年度比

1 「ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！」をミッションに据え、生徒が前向きに取り組めるような支援をしている

→肯定的評価 97% (+2)

2 チーム支援体制によって、生徒一人一人に応じた柔軟な支援をしている

→肯定的評価 92% (-5)

3 体育祭・合唱祭・立志式・部活動・旅行の行事などを通して、生徒一人一人のよさを伸ばしている

→肯定的評価 98% (+1)

奇跡を起こす学校を目指して2年目。今年度は生徒会が主催行事や生徒会朝会等で「ミラクル」を強く意識してくれました。また、生徒の中にも「ミラクルを起こそう！」と日常生活を前向きに捉えて努力する姿が見られるようになりました。地域からも「活気があって素晴らしい」というお言葉をいただいています。

努力なくしてミラクルなし。自律なくしてミラクルなし。保護者や地域の支援と相まって奇跡を起こす高麗中生。そんな学校づくりを来年度も進めます。

学校運営協議会での評価

裏面に令和5年度学校自己評価システムシートを掲載しました。

(市のwebページにも掲載予定)

委員から出された意見をシートに集約してありますが、総じて本校の教育活動について肯定的な評価をいただきました。以下にその一部を紹介します。

- ・「学び合い」の授業改革はとても素晴らしい。高麗中の強みにしてもらいたい。
- ・「学び合い」「わかる授業」で個々の表現する能力が伸びてきたと思う。
- ・「立志式」に代表される自身を見つめる経験は、社会性、人間性の向上に寄与していると思う。
- ・地域と連携した体験活動の充実に期待。
- ・体育祭での生徒の発信、働きに感動。

高麗の風景

・大雪も何のその

2月5日から6日にかけての大雪。予想以上に降り積もり、6日は2時間遅れ対応。早朝から教職員が学校付近の通学路や正門からの坂道などを除雪。汗だくで除雪作業をしていると、除雪車が応援に来校。生徒の登校時間までには除雪を終え、通学路の安全確保が無事完了。教職員、そして地域のチームワークに感激した朝になりました。